

米国政府が実施した臨界前核実験に抗議し、 今後の実験中止を求める意見書

米国政府は、去る8月30日（日本時間31日午前3時）、ネバダ州の地下核実験場において、23回目の臨界前核実験を実施しました。

米国の再三にわたる臨界前核実験の実験は、世界で唯一の被爆国である我が国民の核兵器廃絶に対する願いを裏切るばかりか、国際世論を無視した暴挙であり、許し難い行為であります。

「国際平和都市千代田区宣言」を行い、世界の恒久平和を希求する我々は、人類の未来と次代を担う子どもたちのために、いかなる国のどのような核実験であろうとも容認することはできません。

よって、千代田区議会は区民とともに、米国政府が実施した臨界前核実験に対し強く抗議し、今後、いかなる核実験も行わないよう、日本政府として働きかけることを求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成18年9月22日

千代田区議会議長名

内閣総理大臣 宛